

グラフで見る東海経済(2023年4月)

2023年4月26日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~ 足踏み状態となっている

【今月のポイント】

- 東海経済は、足踏み状態となっている。
- 2月の生産は、前月比+10.4%と3カ月ぶりに増加したが、均してみると足踏み状態となっている。先行きは、トヨタ自動車の生産計画では持ち直しを見込むが、下振れリスクも残る。
- 2月の実質輸出は3カ月ぶりに増加したが、均してみると足踏み状態となっている。3月の自動車の輸出数量は2カ月連続で増加した。
- 個人消費は、物価上昇の影響が懸念されるが、ウィズコロナの進展(定着)により持ち直しの動きがみられる。自動車販売も、コロナ前を下回る水準ではあるが、持ち直しの動きがみられる。

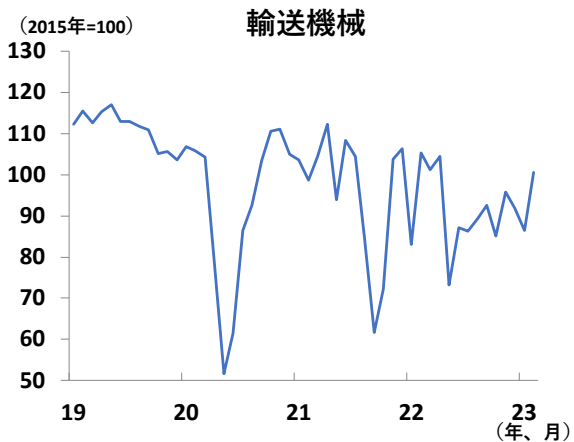
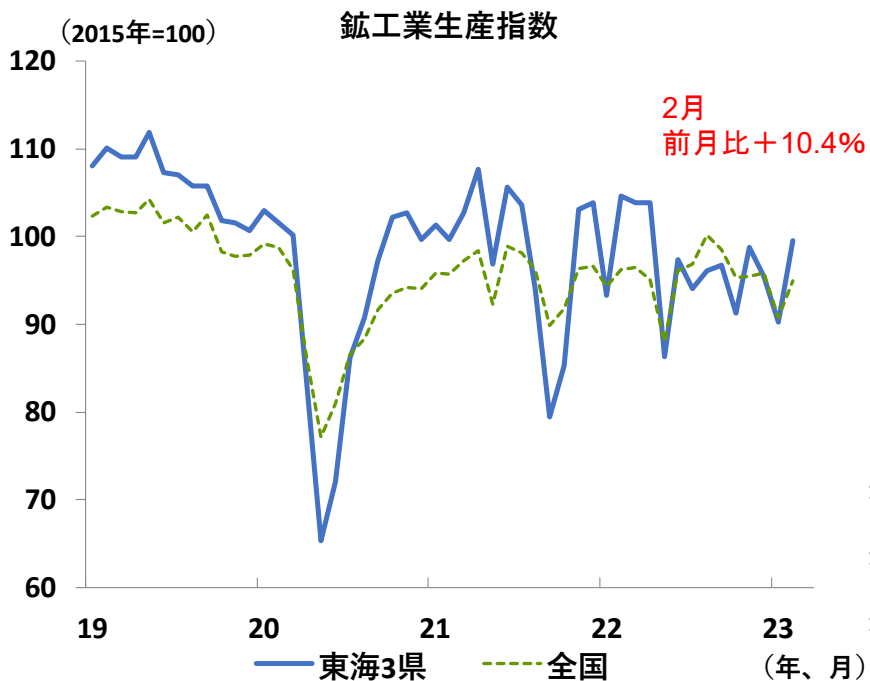
項目	現状
景気全般	足踏み状態となっている
生産	足踏み状態となっている
輸出	足踏み状態となっている
設備投資	持ち直している
雇用	持ち直しの動きがみられる
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	横ばい圏で推移
公共投資	横ばい圏で推移(↑)

注: ()内は前月からの変化の方向

公共投資は、「請負金額は弱含み」から上方修正(↑)

生産

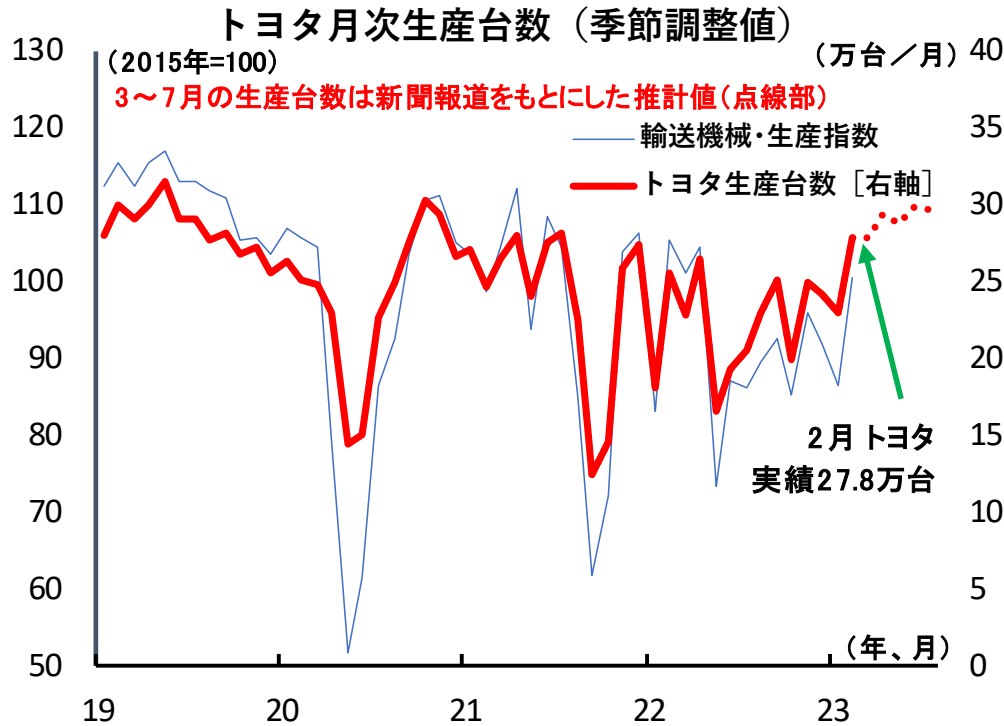
2月の鉱工業生産(東海)は前月比+10.4%と3カ月ぶりに増加したが、均してみると足踏み状態となっている。輸送機械、電子部品デバイス、汎用・生産用・業務用機械など主要業種で増加した。



(出所)経済産業省「鉱工業生産動向」

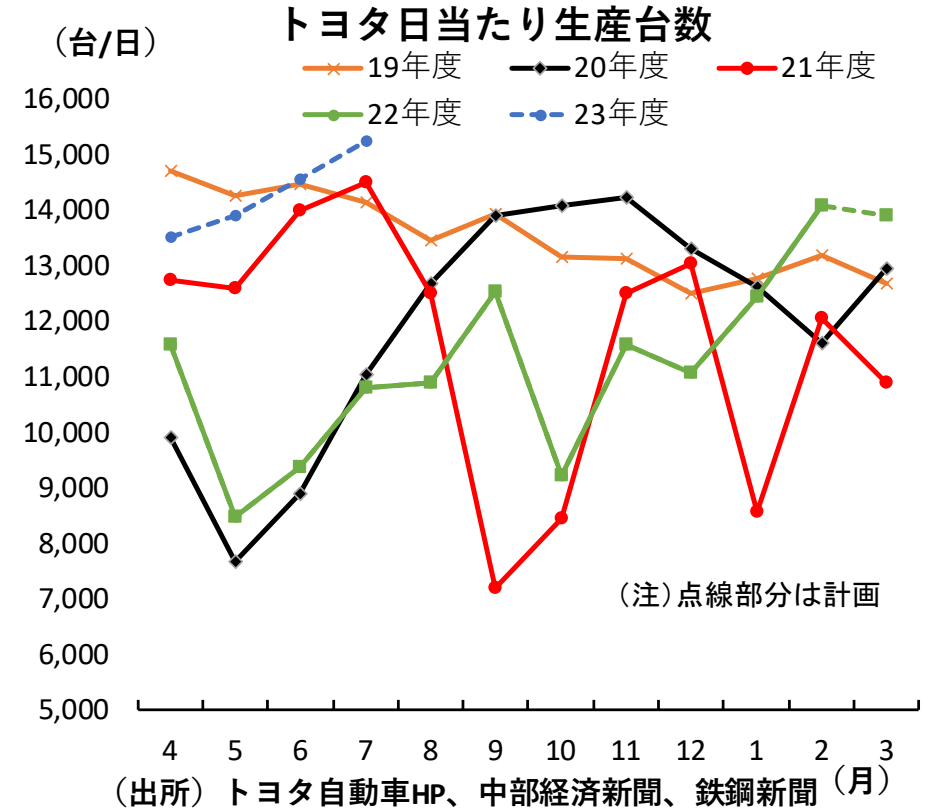
生産（トヨタ国内生産）

2月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は27.8万台と3ヵ月振りに上昇、高い水準となった。3月以降も高水準を維持する計画となっているが、車載半導体の安定調達には不確実性が残る模様。



(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの

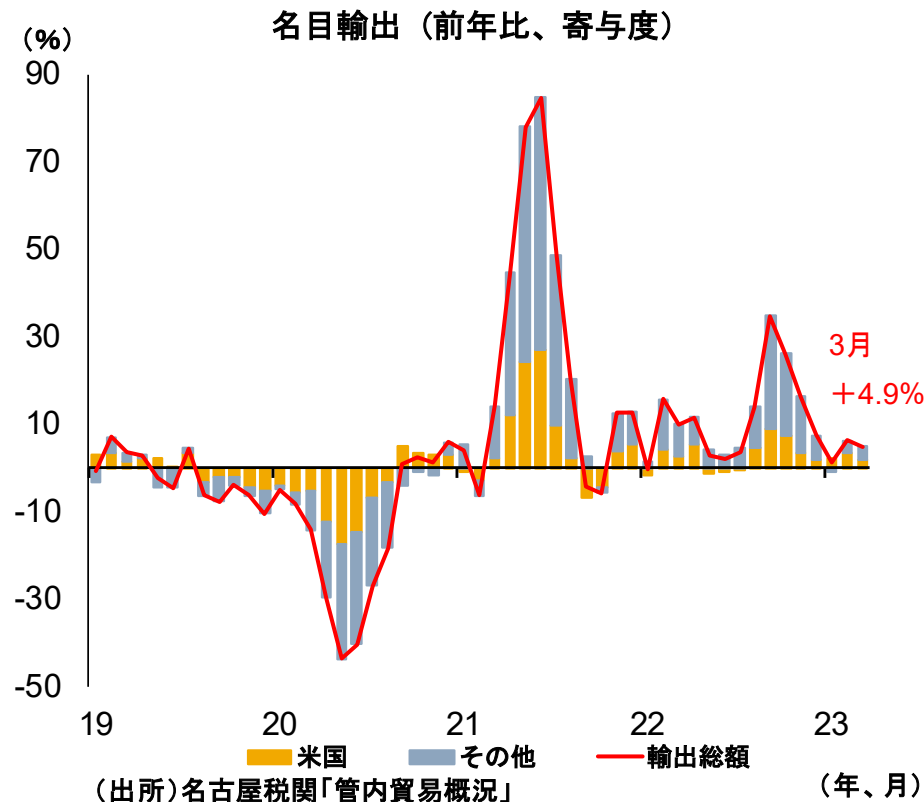
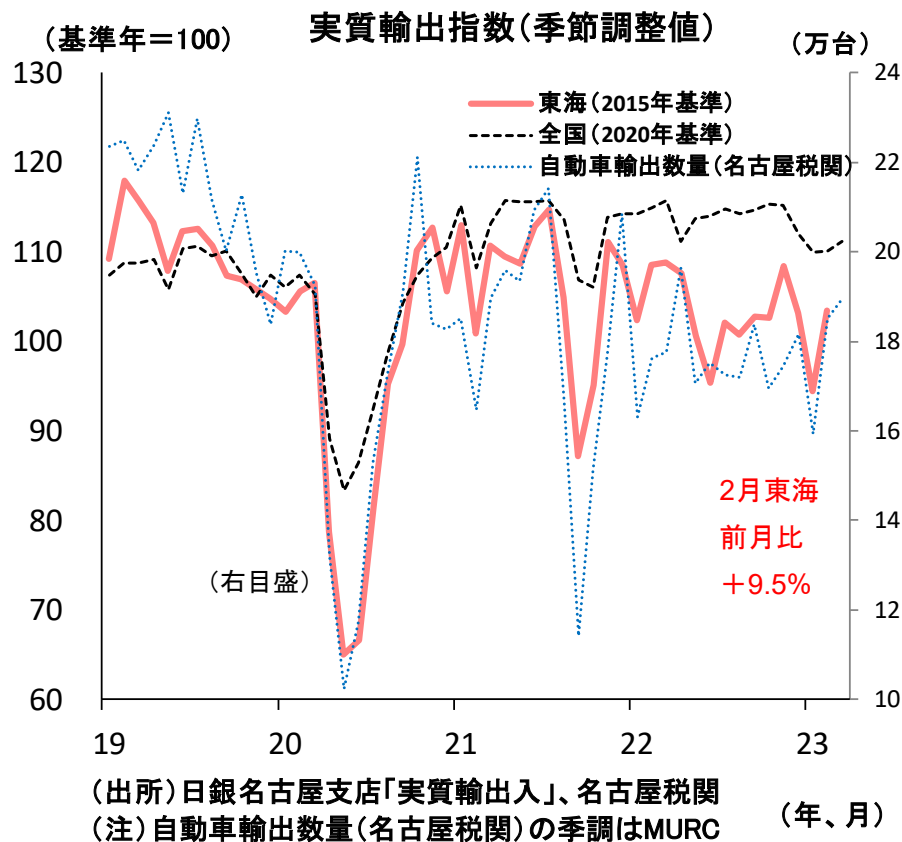
(出所)中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鋳工業生産指数」



輸出

2月の実質輸出指数(季節調整値)は、前月比+9.5%と3ヵ月ぶりに上昇したが水準は高くなく、均してみると足踏み状態となっている。

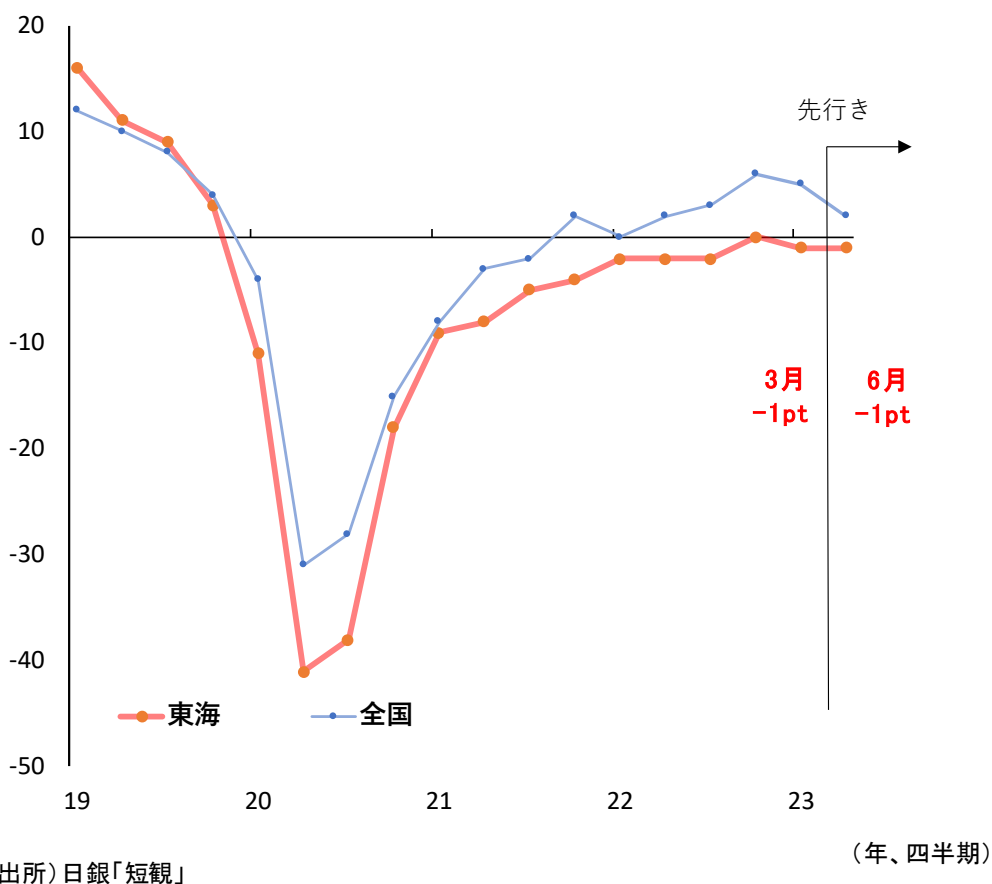
3月の名目輸出額は、前年比+4.9%と14ヵ月連続で増加した。業種別では、自動車と同+29.9%(寄与度+8.3%pt)と増加し、数量ベースでも同+7.3%と増加した。地域別ではアジア向けが減少となったが、米国、EU、その他向けが増加した。



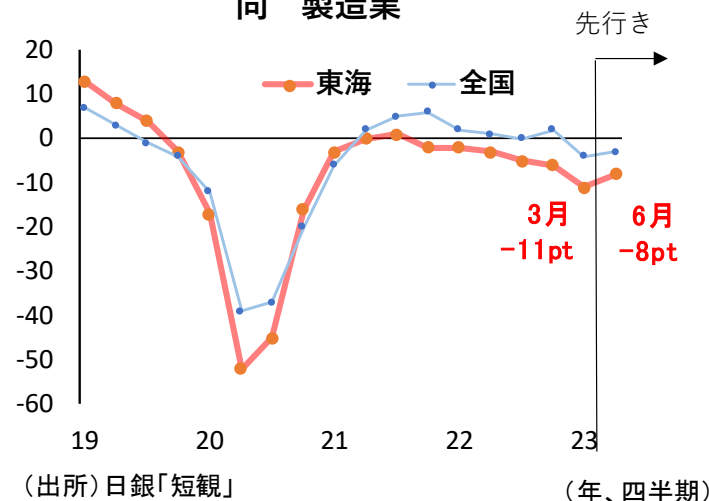
企業景況感(日銀短観)

日銀短観3月調査の業況判断DIIは、全産業で-1ptと12月調査(±0pt)から小幅悪化。非製造業は+10ptと改善したが、製造業は-11ptと悪化。製造業の弱さが響き、全国に比べ弱い動きとなっている。先行きについては、製造業で改善、非製造業で悪化、全産業で横ばいを見込んでいる。

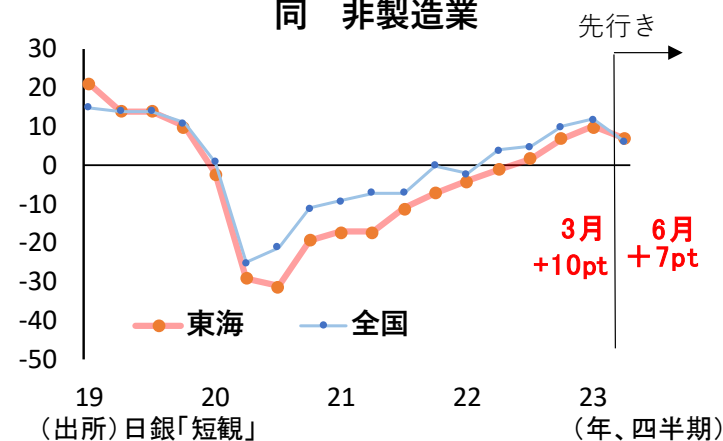
短観 業況判断DII「全産業」



同 製造業

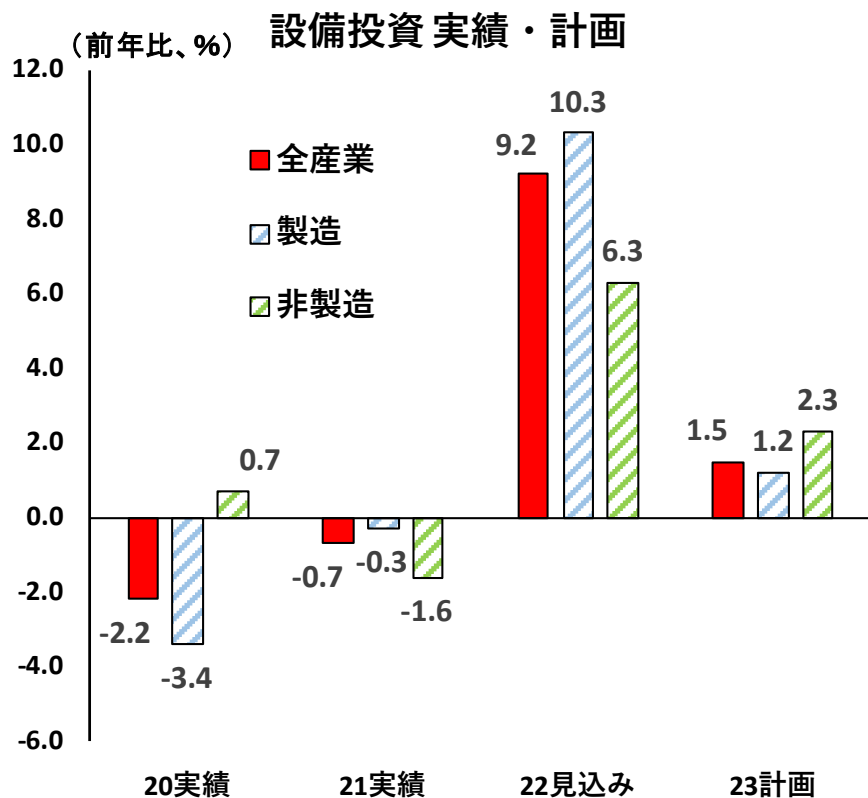


同 非製造業



設備投資(日銀短観)

日銀短観3月調査によると、22年度の設備投資は、製造業で前年比+10.3%、非製造業で同+6.3%と見込まれている。前回調査から小幅下方修正となったが前年度比増加で着地となる見込み。23年度は、製造業+1.2%、非製造業+2.3%と全国と比べて低めの伸びが見込まれている。



(出所)日銀名古屋支店「短観」

(注)含むソフトウェア・研究開発、除く土地投資

(年度)

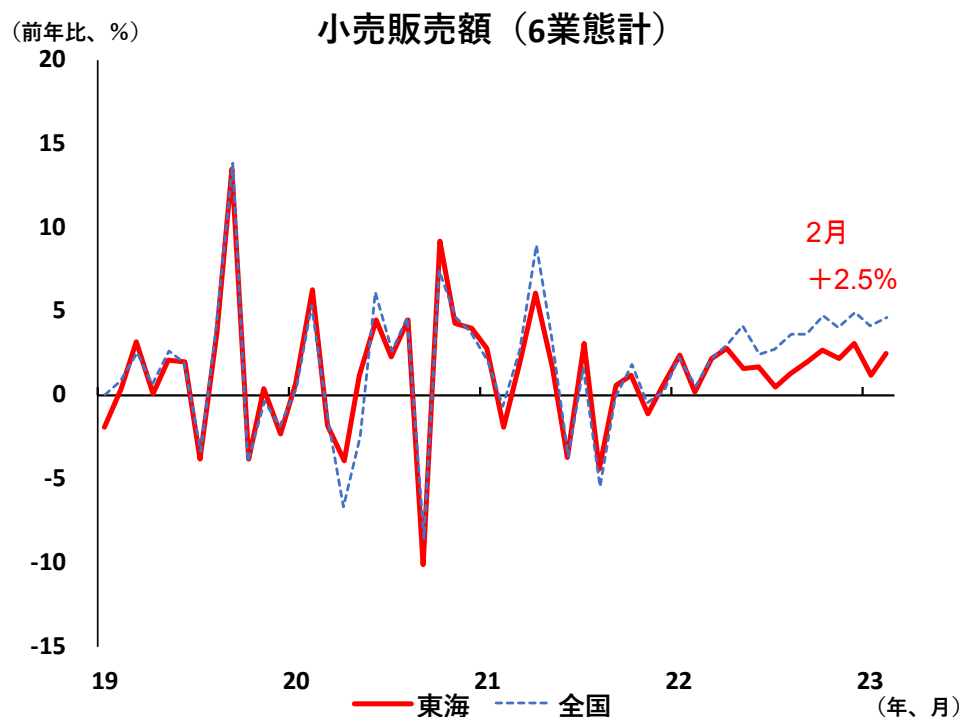
設備投資額 (前年比%)

	21年度実績	22年度計画		23年度計画	
		今回調査	前回調査との差異		
全産業	-0.7	9.2	(-1.0)	10.2	1.5
製造業	-0.3	10.3	(-1.0)	11.3	1.2
非製造業	-1.6	6.3	(-0.9)	7.2	2.3

個人消費(小売売上、自動車販売)

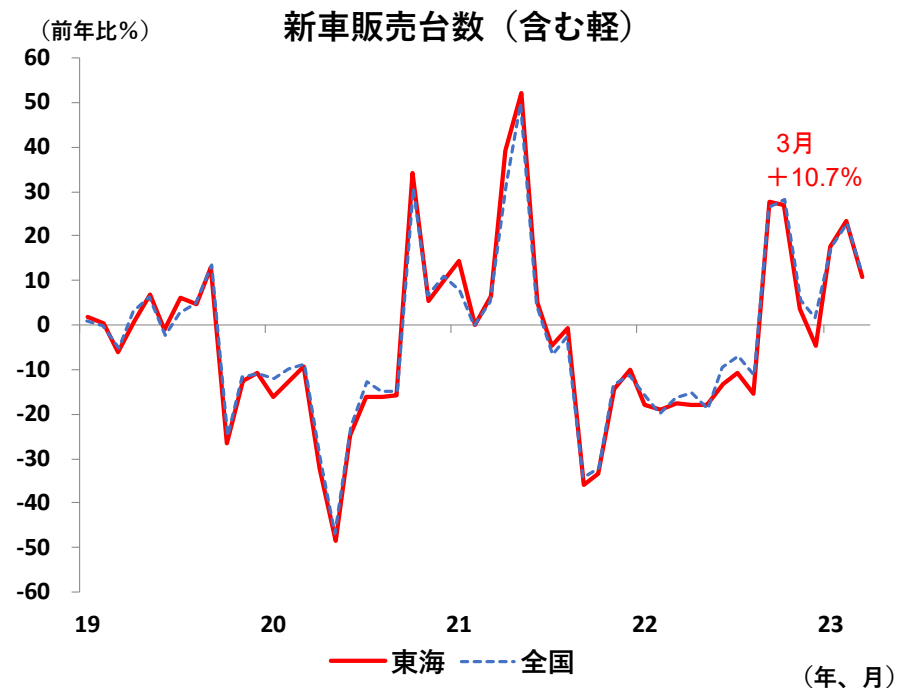
2月の小売販売額は前年比+2.5%と15ヵ月連続で増加。先行きは、物価上昇の影響が懸念されるが、ウィズコロナの進展(定着)により持ち直しの動きが続くとみられる。

3月の新車販売は、前年比+10.7%と3ヵ月連続で増加した。水準はコロナ前を下回る状態が続くものの、持ち直しの動きがみられる。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



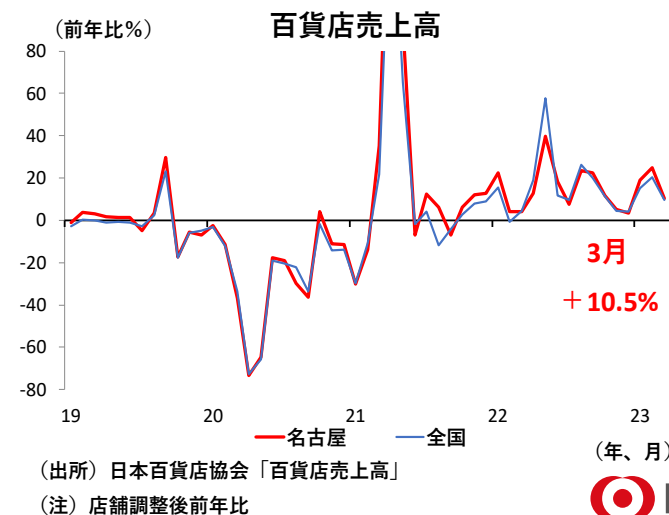
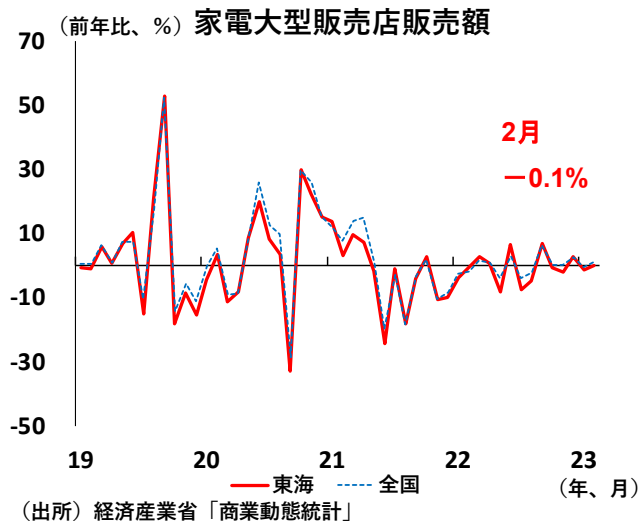
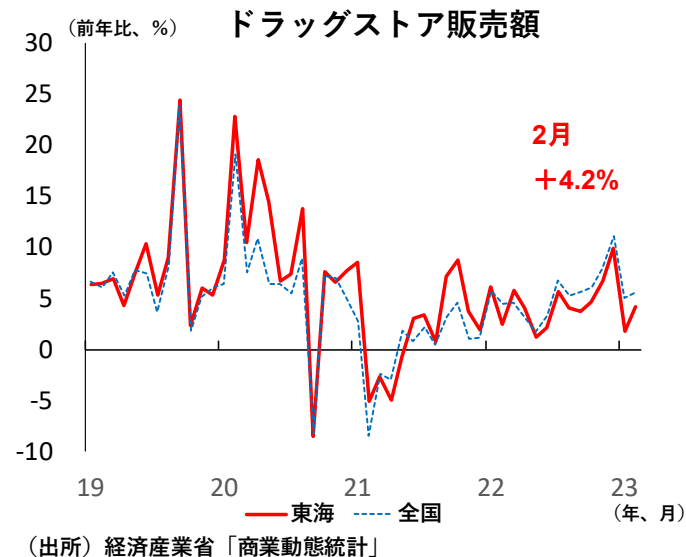
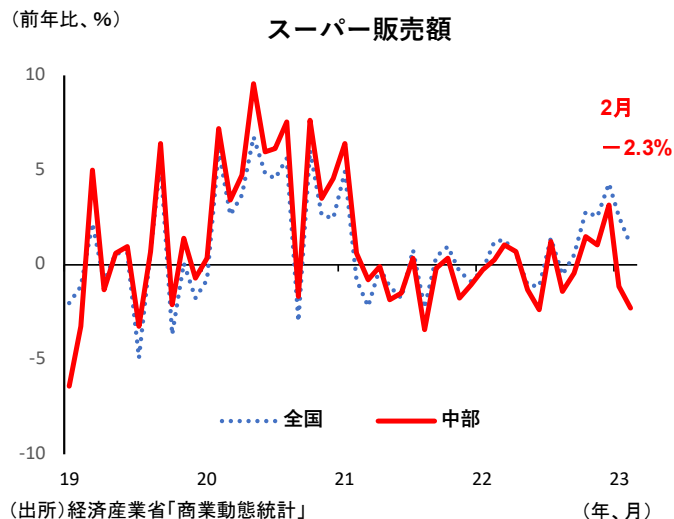
(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

2月の業態別小売販売は、スーパー(中部5県)が2ヵ月連続で減少となった。

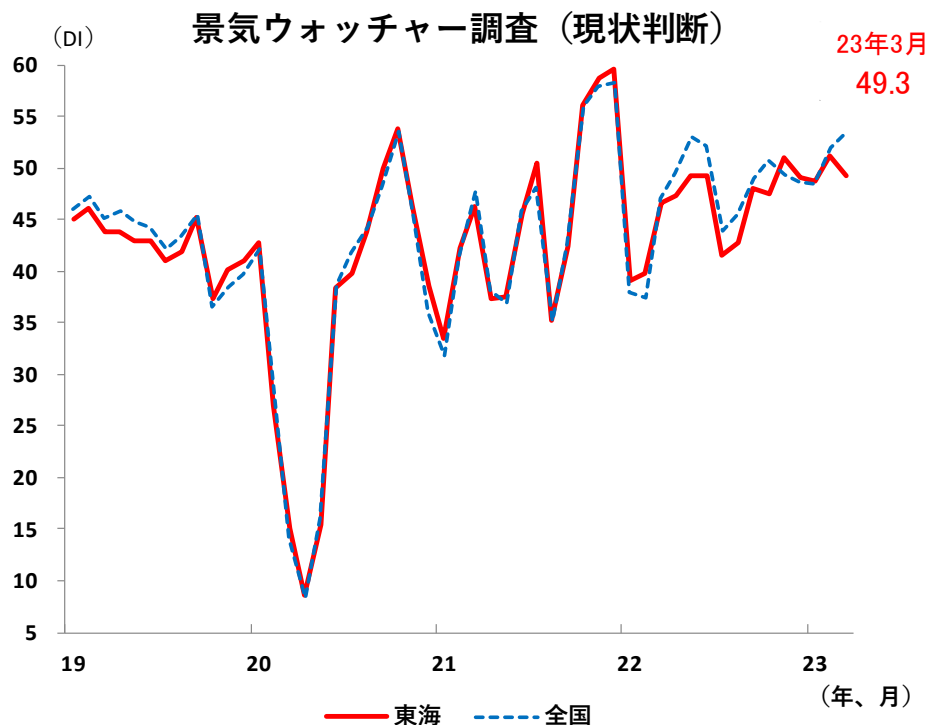
3月の百貨店売上(名古屋)は、外出機運の高まりも影響して前年比+10.5%と18ヵ月連続で増加した。



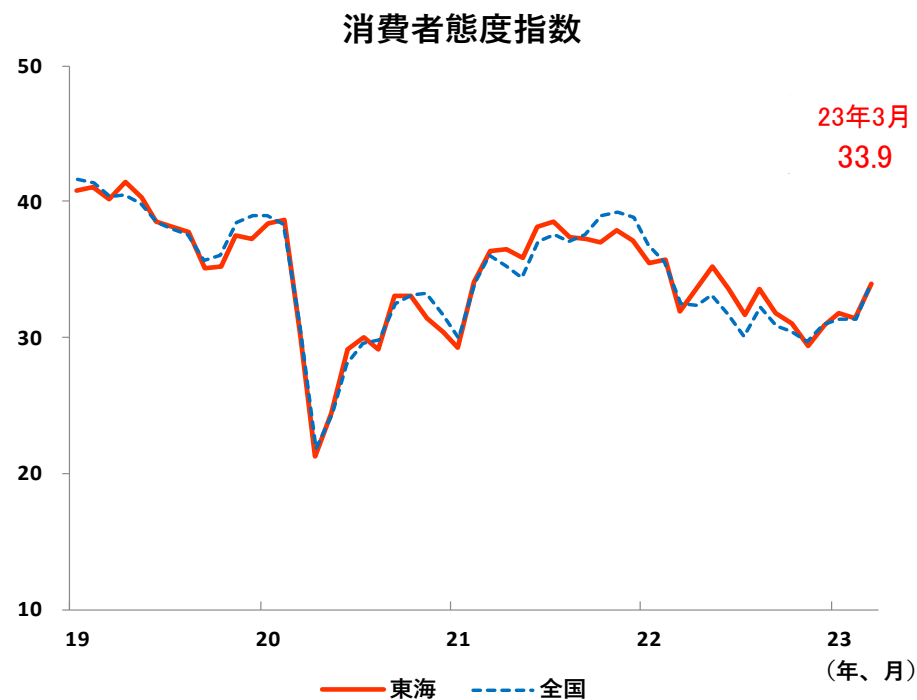
マインド・景況感

3月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、前月差-1.8ポイントの49.3と2カ月ぶりに低下し、横ばいを示す50を2カ月ぶりに下回った。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されてきたとの声が多く、DIは原数値では上昇し50を上回ったが、季節調整値では低下となった。

一方、3月の消費者態度指数は2カ月ぶりに上昇した。



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

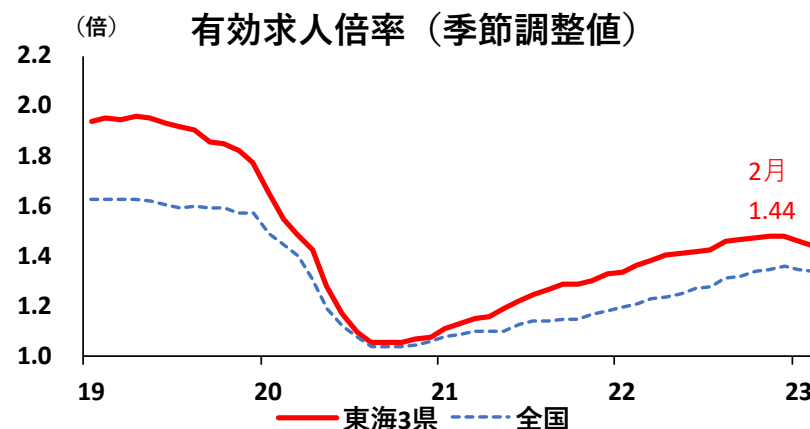
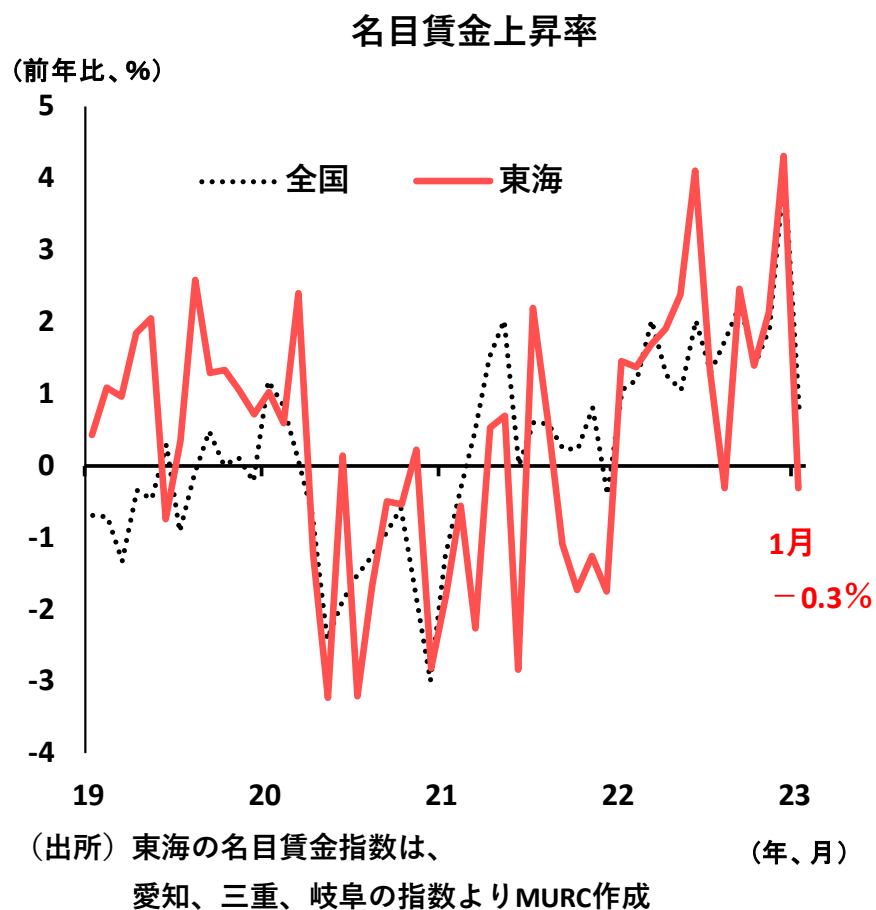


(注)東海の季節調整値はMURC試算

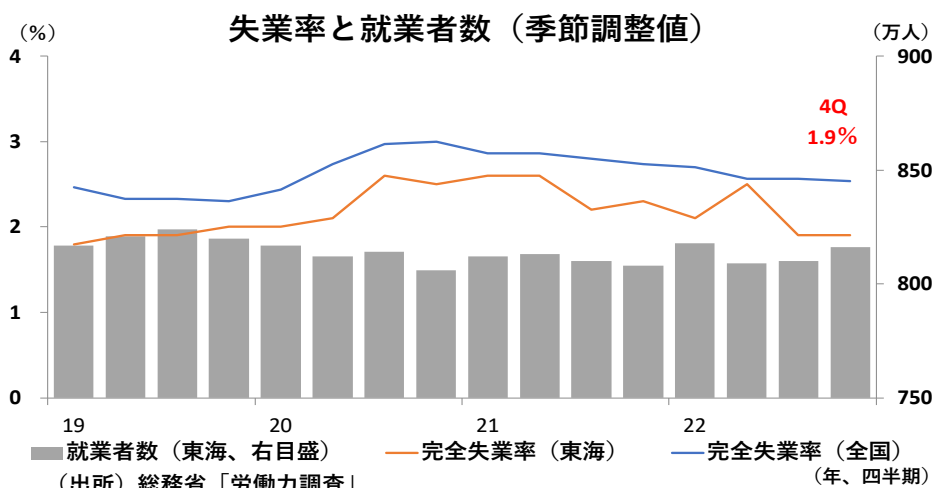
(出所)内閣府「消費動向調査」

賃金・雇用

1月の名目賃金は、前年比-0.3%と5カ月ぶりに低下した。三重県は上昇、愛知県、岐阜県で低下した。2月の有効求人倍率は1.44と前月から小幅低下した。全国に比べ求職者数増加の度合いが低く、有効求人倍率は高めで推移している。22年10-12月期の失業率は1.9%と横ばい。就業者数は増加した。

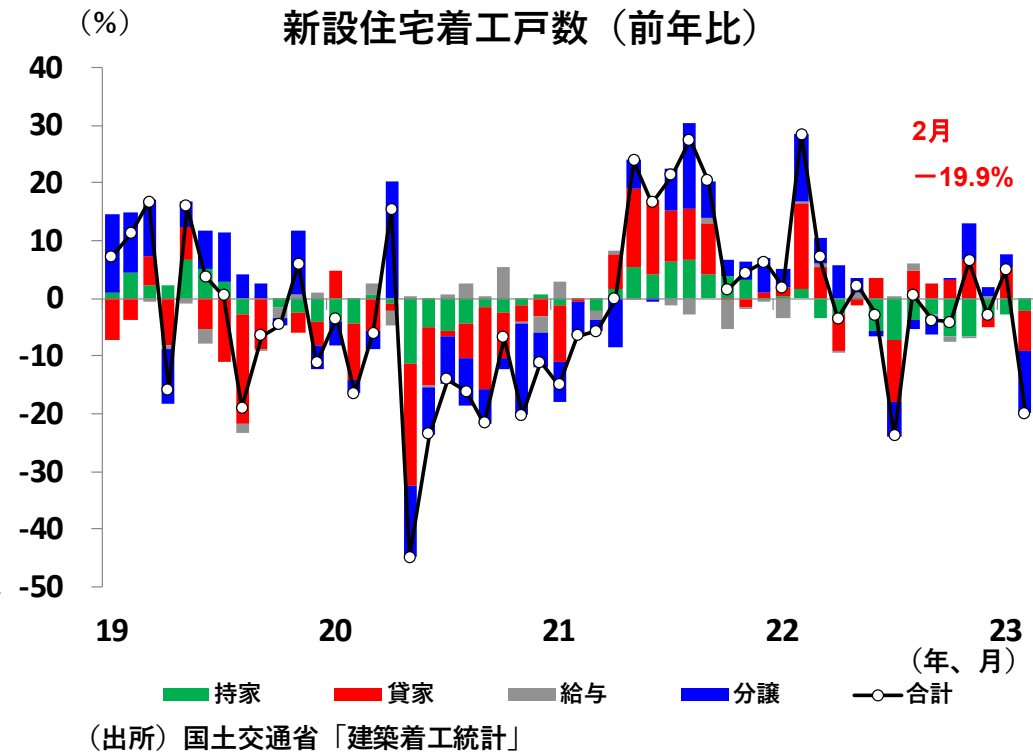
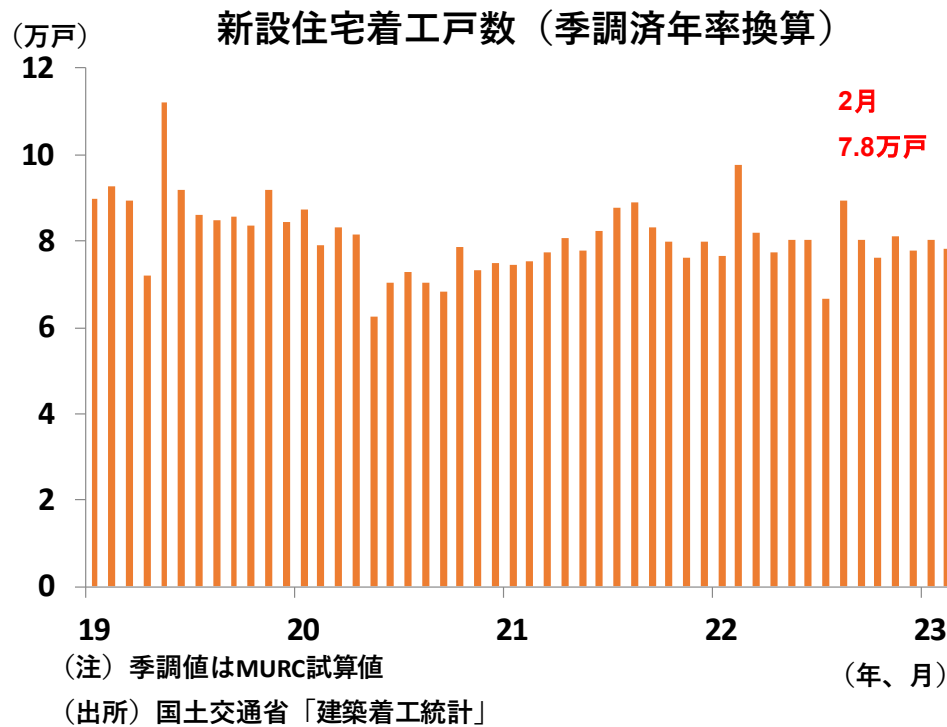


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



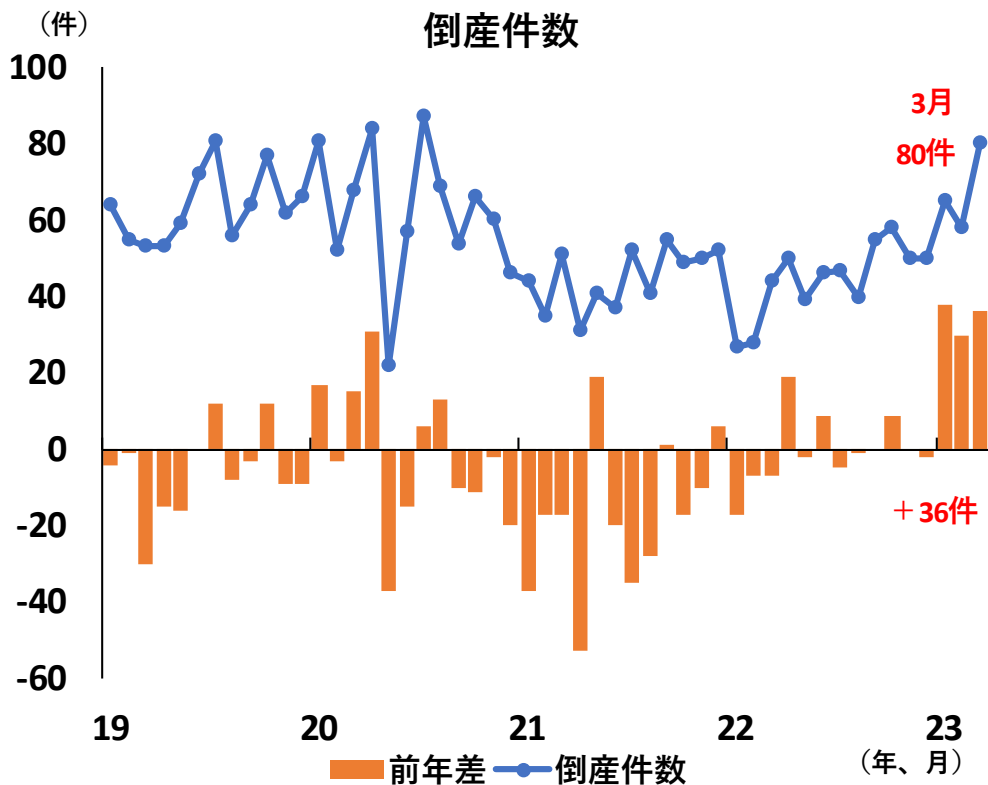
住宅投資

2月の住宅着工は季調・年率で7.8万戸と2ヵ月ぶりに減少。前年比では高水準であった前年の反動で-19.9%と大幅減となった。利用関係別では持家、貸家、分譲のいずれもが減少した。



倒産

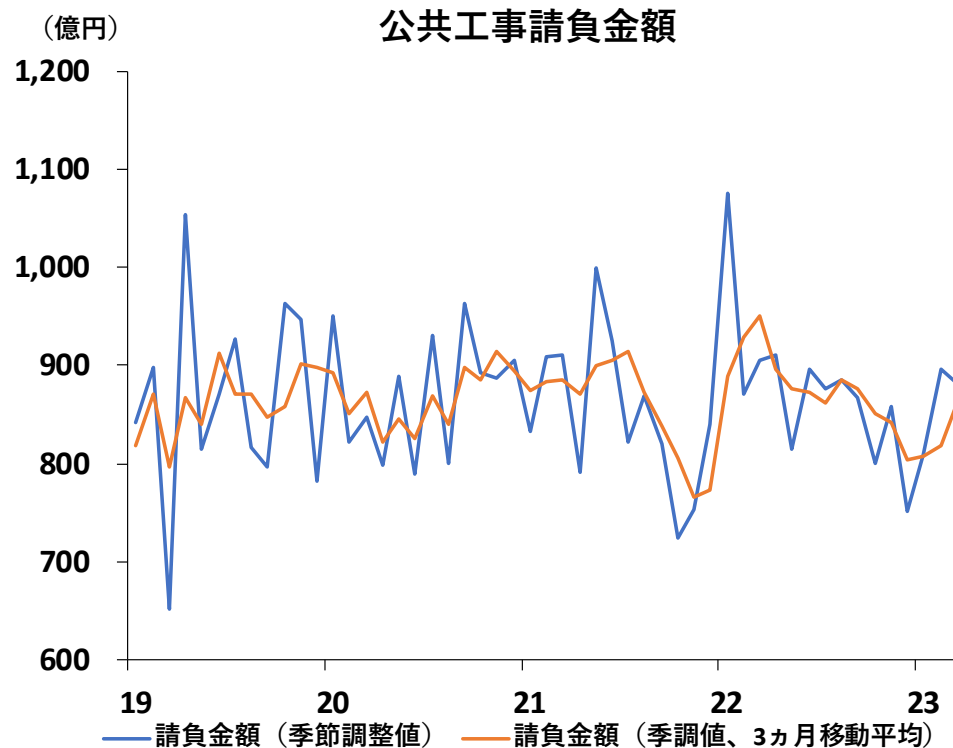
3月の倒産件数は80件と前年差で36件増加。件数はこのところ増加してきている。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

3月の公共工事請負金額は季節調整済前月比で3カ月ぶりに減少した。均してみると横ばい圏で推移している。



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

(年、月)

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、執筆時点で信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください